

『水道施設の新たな点検手法等に関する研究（Aqua-Bridgeプロジェクト）』

の参加募集について

令和4年7月

公益財団法人水道技術研究センター

水道施設の多くは高度経済成長期に整備されたことから、近年、多くの施設が老朽化を迎えつつあります。そうした状況の中、令和3年10月に発生した水管橋崩落事故では施設老朽化や維持管理の課題が顕在化しました。

事故を未然に防ぐため、各事業体では吊材を含む水管橋をはじめ、水道施設の定期的な点検に取り組む必要がありますが、点検に係る時間や人員等の問題から作業の効率化が求められています。効率化の手段として、ドローンをはじめとするICT等新技術（以下、『新技術』という）の開発が進められているものの『水道施設の点検を含む維持・修繕の実施に関するガイドライン』（厚生労働省医薬・生活衛生局水道課 令和元年9月 作成）は具体的な点検事例が記述されるものではなく、各事業体にもノウハウがないことから、活用はあまり進んでいない状況といえます。

このような背景から、水道技術研究センターでは、水道施設における新技術を活用した点検手法等の事例集作成プロジェクトを立ち上げることにいたしました。水道分野における情報収集だけでなく、水道以外の分野で目覚ましい発展を遂げている新技術を水道分野に活用できるよう、各事業体での業務効率化の一助となるような事例集の作成を目指します。

1. 公募概要

(1) 目的

新技術を活用した点検手法等の実用性や課題点について、検証を行います。また、必要に応じ、可能な範囲で水道施設での実証実験を行い、これらの結果と、課題等収集情報とを合わせ『最新技術を活用した点検手法等に係る事例集』として整理し、広く情報共有することを目的とします。同時に、現時点での技術の到達点を把握することで、今後の技術開発に資する事例集とすることも目的としています。

なお、水道施設のうち、水管橋等の鋼構造物及び配水池等のコンクリート構造物を対象施設として想定していますが、本プロジェクトでは主に水管橋を対象とする予定です。

(2) 成果目標

以下に挙げる成果物の取りまとめを想定していますが、具体的には参加者で協議して決定します。

- ① 水道施設の点検等に関する新技術等の情報収集及び整理
- ② ICT等新技術を活用した水道施設の点検手法等に係る事例集の作成

(3) 実施体制

学識者、民間企業、水道事業体等及びオブザーバーの産官学での体制を予定しています。なお、事務局は水道技術研究センターに置きます。

2. プロジェクト実施期間（予定）

令和4年9月（R4年度）から令和6年3月（R5年度）の2年間とします。

3. 募集範囲

(1) 企業メンバーの募集範囲

- ・インフラ施設において、点検を含む維持管理業務・修繕工事の実績のある企業
- ・インフラ施設を含む、点検・維持・修繕に関する技術開発を行っている企業
- ・水管橋又は橋梁の製造・販売・施工を行っている企業
- ・国内の水道事業又は水道用水供給事業において業務実績があるコンサルタント

(2) 企業メンバーの参加資格

- ・インフラ施設の点検を含む維持・修繕に関する実績又は知見を有する者を参加させること。
- ・東京都暴力団排除条例（平成 23 年 3 月東京都条例第 54 号）第 2 条第 4 号に規定する暴力団関係者でないこと。

（注）プロジェクト発足後の途中参加は受けません。

4. 活動内容（予定）

(1) 活動内容

主な活動内容としては、以下に示すとおりです。

- ① 全体会議への出席（年 3 回程度、勉強会を含む）
- ② 事務局との打合せ会議（月 1 回程度、原則リモートで実施）
- ③ 水道施設での現地調査及び実証実験への参加
- ④ 事例集執筆及び集計作業
- ⑤ 報告会での発表

なお、全体会議への出席及び実証実験への参加以外は、事例集執筆及び集計作業が主となります。

また、やり取りは電子メールを基本とし、会議は東京会場又はリモートでの開催を原則とします。

(2) スケジュール

スケジュール（予定）は、下表に示すとおりです。

実施内容	R4 年度	R5 年度
① 立上げに係る募集期間（8 月 10 日まで）	↔	
② 協定締結等、体制の整備期間	↔	
③ プロジェクトの発足（9 月下旬）	◆	
④ 水道施設の点検等に関する新技術等の収集・整理	←→	
⑤ 水道施設での現地調査及び実証実験（必要に応じ）	←→	
⑥ 事例集作成		←→
⑦ 報告会		↔

5. 費用負担

(1) 参加費

本プロジェクトの参加費用は以下のとおりとします。なお、プロジェクト参加に係る交通費・宿泊費は参加者の負担とします（詳細は会則参照）。

表 令和 4、5 年度の参加者区分と参加費（各年度、税込）	
参加者の区分	参加費
センター会員企業	550,000 円
センター非会員企業	880,000 円

※コンサルタントは、会員上記金額の半額。

(2) 実証実験

実証実験に係る費用負担については、別途協議の上決定するものとします。

6. 応募方法

(1) 提出書類

参加申込書に必要事項を記入し、電子メールまたは FAX で提出してください。

参加申込書は[こちら](#)からダウンロードできます。 word(docx)形式

(2) 募集期限

令和 4 年 8 月 10 日（水）まで

7. 審査

参加申込書をもとに審査を行い、選考結果は後日、応募者に通知します。

8. 問い合わせ先

担 当：（公財）水道技術研究センター 管路技術部 小原、水野

住 所：〒112-0004 東京都文京区後楽 2-3-28 K.I.S 飯田橋ビル 7F

T E L：03-5805-0263

F A X：03-5805-0265

e-mail：aqua-bridge@jwrc-net.or.jp

※迷惑メール対策のため、@を全角にしています。半角に修正して送信してください。